

## 埼玉県共助SDGs

# コバトン記者団通信



埼玉県マスコット「コバトン」

本通信では、令和3年度共助SDGsコバトン記者団の団員たちが活動終了後に作成した活動レポートを発信していきます！

## 第5回活動：成果発表会

1月16日（日曜日）大宮ソニックスティ会議室にて、共助SDGsコバトン記者団第5回目の活動として成果発表会を開催しました。

学習活動や取材活動で学んだことや考えたこと、調べたことをまとめて一人ずつ発表を行いました。パワーポイントを駆使したプレゼンテーションやカレンダーの裏紙を再利用した形式など、創意工夫あふれる思い思いの自由なスタイルでの発表でした。



なお、詳細については、本事業受託者である株式会社シュケットのホームページに活動報告を掲載しておりますので、下記URLよりご覧ください。

[https://www.chouquette.co.jp/kobatonkisyadan\\_report05/](https://www.chouquette.co.jp/kobatonkisyadan_report05/)

## 個人発表資料

※団員が作成した個人発表資料から抜粋しています。

## これまでの学習活動や取材活動で、学んだこと、考えたこと、調べたこと

- 自分が考えたことがなかったSDGsの取り組みを、考えて実際に行動に移しているところがたくさんあり、自分の知らないところでSDGsを達成するために努力をしている人がたくさんいるのだなと思いました。
- 全体を通じて、未来をより良くするために、様々な人が関わり努力していることが分かった。



- 改善しなくてはならないことは、一人一人が協力することが大切なのだとよく分かった。
- 今の社会を改善していくため、SDGs達成に近づいたりするためには、一人一人が環境問題や貧困問題などが身近にあるという意識を高めて生活することや、地域活動やボランティアで協力することが必要だと学びました。
- 身近なところや地域などでもSDGsに対する取り組みが行われていることを知りました。
- スーパーなど身近なところでSDGsの取り組みをされていることを知り、他人事でいるのではなく、自分で行動することが必要ということを学びました。

# 2030年はどんな地域社会になっていてほしいと思ひますか？



- ・ 地域活動がより盛んになり、共助が当たり前の社会。
- ・ みんなで共存して暮らせる社会になっていてほしい。
- ・ 差別がなく、人と人の交流が絶えない地域になってほしい。
- ・ 食品ロスやゴミの廃棄が当たり前ではなくなり、今より改善されていてほしい。
- ・ SDGsのスローガンのように「誰一人取り残さない」社会となり、助け合いや協力が世界中に広がってほしい。
- ・ SDGsが達成でき、コロナが収まりみんなの笑顔あふれている社会になっていてほしい。

## 私の行動宣言～自分たちにできることはなんだろう～

- ・ 使わない部屋の電気を消すなど、まずは家庭でできることから取り組みたい。
- ・ これから中学生になり世界を見る機会が多くなると思うので、もっと自分でできる取り組みを見つけていきたいです。
- ・ 食べ物を腐らせないでしっかり食べたり、野菜の皮を剥きすぎないようにして、家庭から出る食品ロスを減らしたいです。
- ・ 期限が近付いてきているものでも食べないものなら、フードバンクなどに寄付する。
- ・ 私にできることは、友達や家族にSDGsで分かったことを伝えることだと思う。
- ・ 差別をしたり仲間外れをしないようにします。
- ・ 常にマイボトルとマイバッグを持って出かけます。募金などもしようと思います。



お問合せ先

主催/埼玉県県民生活部共助社会づくり課 受託/株式会社シュケット

TEL 048-830-2819 FAX 048-830-4751